



新国会
渡邊 龍之
議員

認知症高齢者数の把握について

質問 後期高齢者世帯における認知症高齢者数の把握はされているのか伺う。

答弁 後期高齢者世帯数は3、67世帯で、内訳は単身世帯が2、641世帯、夫婦とも75歳以上の世帯は1、026世帯となっています。また、介護認定時での数字ですが、75歳以上の認知症高齢者数は501人となっています。

認知症の高齢者に対する包括的支援の現状と課題について

質問 各介護施設開設事業所における待機者数は調査しているか。

また、在宅における認知症の高齢者に対する包括的支援の現状と課題について伺う。

答弁 施設待機者数の調査は実施していませんが、日々の相談業務の中で必要に応じて情報収集を行っています。また、在宅における認知症の高齢者への支援は、高齢者

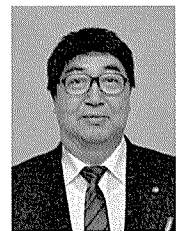
個々の生活状況に合わせて行っていますが、地域で安心して高齢者が生活するためには、健康増進と認知症の早期発見、予防が重要な課題と認識しています。

次期の介護保険事業計画のポイントについて

質問 次期の介護保険事業計画のポイントについて、基本的な見解を伺う。

答弁 国は地域包括ケアシステムの構築と介護保険制度の持続可能性の確保のために、充実と重点化・効率化を一体に行う方向で現在、議論が進められています。この中で認知症施策の推進として厚生労働省が公表している「認知症施策推進5か年計画」を踏まえ、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができる社会の実現に向けた検討が行われています。2025年を見据えた地域包括ケア計画と位置付けるなど、これまでの計画を発展する内容に見直される

とのことから、本市としても的確な情報収集に努めるとともに、制度改正を踏まえた適切な計画となるように取り組んでいきます。



市民の声連合
渡辺 精郎
議員

市幹部職員の再就職について

質問 市の幹部職員が入札に係る企業に再就職することは、道義的に「天下りの」ではないか。市長は襟を正し神経を使うべきではないか。

答弁 職員の再就職には、市として関与していません。入札に限らず、市の全ての業務を進めるに当たっては、誰が相手であっても法令を遵守し、粛々と公正に進めることが大切であると考えています。

雑紙分別で「ごみ袋料金値下げを

質問 分別回収した雑紙の売却代金が予定を上回れば、ごみ袋料金の値下げもできるのではないか。

答弁 雑紙の売却収入は660万円と試算して値上げを決定しました。値下げは考えていません。

小動物の火葬場の設置について

質問 家族のように生活してきたペットを火葬したいが、簡易な火葬場の設置の考えはないか。

答弁 旭川市の神居古潭や赤平市に民間のペット霊園があり、また、移動式火葬車の民間業者もあります。市民の皆さんにはこれらの施設を紹介しており、行政として整備する考えは持っています。

初雪時の除雪体制は

質問 11月11日と12日で30cmも雪が降ったが除雪車が入らず、子どもたちは車道を歩いて危なかった。当日の除雪体制は。

答弁 11日に21cmの降雪でしたが、融雪が進み除雪車出勤は必要ないと12日午前1時の時点で判断しました。その後約10cmの降雪があり、市民の皆様にご迷惑をおかけしたことをおわびいたします。

全国学力・学習状況調査結果の公表問題

質問 学校別・学級別の順位発表は弊害が多く、教育破壊が過去の歴史から顕著なので、順位発表はすべきではないのではないか。

答弁 順位発表は行いません。公表は教育委員会に委ねられましたので、校長や保護者の意見を聞いて慎重な態度で臨みます。